

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 14

愛の法則としての命の霊の法則の中で生きて、神の長子のかたちに同形化されるという
わたしたちの運命を全うする

聖書：ローマ8:2, 28-29. ガラテヤ6:2-3. ヨハネ13:34.

I ヨハネ4:16-21. I コリント8:1. 13:4-8前半, 13

- I. 神のエコノミーは、ご自身を人と成らせて、ご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちを神格においてではなく、命と性質において神とならせるという彼の意図です。それは、彼が「人化」され、わたしたちが「神化」されて、キリストの有機的なからだである召会を建造して、新エルサレムを究極的に完成するためです：
- A. クリスマン生活は、わたしたちの中でキリストご自身が命の霊の法則として活動することによって、わたしたちを通して生きられる生活です——詩歌304番. ローマ8:2。
- B. わたしたちが弱く、落ち込んでおり、後退していると感じる時はいつも、わたしたちは主に祈り、彼に近づくことができます。そして、命の霊の法則は自然に、自動的にわたしたちの内で活動して、わたしたちを復興します——詩62:8. エレミヤ17:7-8. 詩80:1, 3, 7, 18-19。
- C. 命の霊の内住の法則がわたしたちにとって「婚約指輪」としての証印を押す霊であることは、わたしたちがキリストに婚約させられ、わたしたちがキリストに属し、わたしたちがキリストによって占有されていることを、あらゆる人に示します——II コリント11:2. ルカ15:22. エペソ1:13. 4:30。
- D. 三一の神は手順を経て、究極的に完成された、命を与える霊、「命を与えるその霊」としての命の霊の法則と成りました。今や、彼は自動的な原則と自然な力としてわたしたちの内側におり、命（ギリシャ語、ゾーエ）であるご自身を、わたしたちの三部分から成る存在全体に与えています——ヨハネ6:63. 14:6前半. 10:10後半. ローマ8:2, 10, 6, 11。
- II. 「神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益とな [り] ……ます。なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです——28-29節：
- A. ローマ第8章は、すべてを含む霊が、わたしたちを長子のかたちに同形化するという目的のために、わたしたちの三部分から成る存在に命を与えることに関するものです。すべてを含む霊の唯一の機能は、神聖な命であるゾーエをわたしたちの中へと分け与えることです——II コリント3:6：
1. 長子は原型、標準としてのモデルであり、それは神の多くの子たちを大量に複製するためです。彼らは長子の多くの兄弟たちであり、彼のからだを構成して神を

団体的に表現します——ローマ8:29. エペソ4:20-21。

2. 神がこの原型を大量に複製する方法は、彼の生ける原型である長子を、わたしたちの全存在に造り込むことによってです。わたしたちがこのすばらしい原型と協力し、彼に開くなら、彼はわたしたちの霊から外側に向かって、わたしたちの心のすべての部分に広がります——3:16-21。
- B. その霊はわたしたちの周りの状況を按配して、すべての人、すべての事柄、すべての事物が共に働いて益とならせます。ローマ第8章28節の「益」は、わたしたちがさらにキリストを得ること、わたしたちが彼をわたしたちの存在に造り込んでいたくことを指します。命の霊の法則は命をわたしたちに供給して、わたしたちを造り変え、わたしたちを神の長子であるキリストのかたちと同形化して、神に対するキリストの香ばしいかおりとならせます——エレミヤ48:11. IIコリント2:15. 雅4:16。
- C. わたしたちが神の長子のかたちと同形化されることは、わたしたちの運命であり、わたしたちの内側に神聖な命を造り込むことの目標です。イエスにあるあの実際としてのキリストをわたしたちが学ぶことは、キリストの鋳型の中へと鋳込まれること、すなわち、キリストのかたちと同形化されることであって、それは復活の中で、彼をわたしたちの神聖な命として取って、あらゆることを神の中で、神と共に、神のために、神によって、神に行なうことによって神に栄光を帰すためです——ローマ8:29. エペソ1:4-5. 4:20-21. ローマ11:36。
- D. わたしたちの同形化は、神聖な命におけるわたしたちの円熟であり、それによって、わたしたちは神の神性に十分あずかり、彼の神聖な要素を所有することで、また彼の有機的な救いを経験することで強固にされます：
 1. 造り変えられるとは、わたしたちの天然の命において新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、わたしたちを変える神聖な命で満たされることです——IIコリント3:18. ヘブル6:1前半. コロサイ1:28-29。
 2. 命の円熟は、命である神で満たされる事柄であり、祝福は命のあふれ出、すなわち、命の円熟を通して神があふれ出ることです。人を祝福するとは、彼らを神の臨在の中へ、神聖な三一の神聖な分与の中へともたらすことです——民6:22-27. IIコリント13:14. Iペテロ3:8-9。
- E. 命の霊のすべてを含む、命を与える、内住する法則は、活発で、精力的で、神聖な命をわたしたちに注入し、わたしたちの内側で働いて、わたしたちを「キリスト化する」、すなわち、命、性質、表現においてキリストと全く同じにします。
- F. わたしたちは神聖な命の現れによって、誰かが神聖な命であるゾエを享受し、経験していることを見ることができます——参照、民6:6-9：
 1. 進んで自分自身を主に開かず、命の光である彼を受け入れない者は、依然として自分の思いを活用してメッセージを聞き、聖書を読むかもしれませんが、彼らが聞いたり、読んだりすることは、人を裁くための参考書や人を批評するための手段にしかならず、彼ら自身は少しも光を受けません。
 2. 自分自身を主に閉じている者は、人を裁き、批評することの専門家です。彼らは他の人たちの状態についてはとてもはっきりしていますが、自分自身の状態につ

いては少しも知りません。これは、彼らが完全に暗やみの中にいることを証明します！

3. わたしたちが集会において健康で適切なメッセージを聞く方法は、わたしたちの思いの中の命か死の現れであるかもしれません。わたしたちが喜びをもってメッセージを受け入れるなら、これは命に満ちた思いの現れです。しかしながら、わたしたちが内側でメッセージに疑問を持ち、反論するなら、これは思いの中の死の現れです。聞き手の思いの中の命か死かは、語り手の霊を供給することもあれば、殺すこともあります。
4. わたしたちが命に満ちているとき、何もしなくても、わたしたちの存在は命を表現し、わたしたちの周りにいる人たちに命を供給します—— I ヨハネ5:16前半。

Ⅲ. 命の霊の法則は、愛の法則としてのキリストの法則です——ローマ8:2. ガラテヤ6:2. ヨハネ13:34 :

- A. 神がまずわたしたちを愛してくださったのは、彼がわたしたちに彼の愛を注入し、わたしたちの内側にその愛を生み出してくださったという点においてです。その愛をもって、わたしたちは神を愛し、また兄弟たちを愛します—— I ヨハネ4:19-21。
- B. 第1コリント第13章でパウロが述べた愛は、神聖な命の表現です (4-8節前半)。しかも、愛がその霊の実であるという事実が示しているのは、愛の実質がその霊でなければならないということです (ガラテヤ5:22)。もしわたしたちが愛を持っていないなら、わたしたちの語りかけは命のない音を発する、鳴り響く鐘や騒がしいシンバルのようです (I コリント13:1)。
- C. 愛は、ねたまず、いらだたず、人の悪を数えたてず、すべてを覆い、すべてを耐え忍び、あらゆることを切り抜ける、最も大いなるものです——4-8節前半, 13。
- D. 愛の法則は命の霊の法則によって実体化されなければなりません。それによって、わたしたちはその霊の中を、その霊によって歩くことの自然な結果として (ガラテヤ6:2. 5:16, 25)、お互いの重荷を負い合うことができますが、もしわたしたちが高ぶりで満たされているなら、人の重荷を負うことはできないでしょう。これは、わたしたちが無であるとき、自分が何者であるかと考えることによって自分自身を欺いているからです (6:3)。
- E. 愛の法則がわたしたちの内側で活動するとき、わたしたちは自動的に、自然に牧者となって、わたしたちの父なる神の愛し赦す心と、わたしたちの救い主、キリストの牧し探求する霊を持ち、失われている一匹の羊の後を追って、探し出します—— ヨハネ21:15-17. ルカ15:1-7。
- F. 愛の法則がわたしたちの内側で活動するとき、主の中でのわたしたちの労苦は愛の労苦であり (I コリント15:58. I テサロニケ1:3-4)、その中で、わたしたちは「弱い人たちを支え」(使徒20:35)、「弱い人たちを元気づけ」(I テサロニケ5:14) ます。「弱い人たち」とは、霊や魂や体において弱い人たちか、信仰において弱い人たちを指します (ローマ14:1. 15:1)。
- G. わたしたちが神から受けた命は愛の命です。キリストはこの世で神の命を生きましたが、今や彼はわたしたちの命であり、それはわたしたちがこの世で同じ愛の命を生き、彼と同じになるためです—— I ヨハネ3:14. 5:1. 2:6. 4:17。

- H. わたしたちはキリストの愛にあふれ、我を忘れている人たちでなければなりません。神聖な愛はわたしたちに押し寄せる大水の潮の流れのように、なすすべもなく、彼に生きずにはいられなくなるべきです——Ⅱコリント5:14。
- I. 兄弟愛に関する戒めには古い戒めと新しい戒めの両方があります。古いというのは、信者がクリスチャン生活の最初からそれを持っていたからです。新しいというのは、彼らのクリスチャンの歩みで、それが繰り返す新しい光で夜が明け、新しい照らしと新鮮な力で照らすからです——Ⅰヨハネ2:7-8. 3:11, 23. 参照、ヨハネ13:34。
- J. 召会生活は兄弟愛の生活であり（Ⅰヨハネ4:7-8. Ⅱヨハネ5-6. ヨハネ15:12, 17. 啓3:7. エペソ5:2. 参照、ユダ12前半）、からだは愛の中でそれ自身を建て上げます（エペソ4:16）。
- K. わたしたちの神が与えた、再生された霊は、愛の霊です。わたしたちは燃える愛の霊を必要としますが、それは今日の教会の墮落を打ち破るためです——Ⅱテモテ1:6-7. ローマ12:11。
- L. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」。わたしたちは務めのメッセージを聞いて、単なる知識で思い上がるかもしれません（Ⅰコリント8:1後半. 参照、Ⅱコリント3:6）。互いに愛することは、わたしたちがキリストに属することのしるしです（ヨハネ13:34-35）。
- M. 召会の中でかしらになりたがることは、すべての兄弟を愛することに相対します——Ⅲヨハネ9:
1. 主の働きにおける競争心は、野心のしるしだけでなく、高ぶりのしるしでもあります。わたしたちの才能、成功、完璧さ、美德に言及することは、軽率な形の高ぶりです。
 2. 自分が思うべき限度を超えて思い上がることは、別の形の高ぶりです（ローマ12:3）。自己の誇り、自己を高く上げること、自己に栄光を帰すこと、虚栄をむさぼることは、すべて高ぶりの醜く卑しい表現です（ガラテヤ5:25-26）。
- N. わたしたちが神聖な命を持つために、主イエスが彼の魂の命を捨てたように、わたしたちは自分たちの魂の命を失い、自己を否んで、兄弟たちを愛し、からだの生活の実行において彼らに命を供給する必要があります——Ⅰヨハネ3:16. ヨハネ10:11, 17-18. 15:13. エペソ4:15-16, 29. Ⅱコリント3:6. 4:12-13. 12:15. ローマ12:9-13。
- O. わたしたちは享樂を伴うこの世を愛さないことによってわたしたちの魂の命を失う必要があります。むしろ、神を取り入れ、愛である神を表現することが、わたしたちの喜び、娛樂、芸能、幸いであるべきです——Ⅰヨハネ2:15-17. マタイ16:25-26. 詩36:8-9. 参照、Ⅱテモテ3:1-5。
- P. 召会生活の中で兄弟愛が実際的に表現されるのは、わたしたちが窮乏している聖徒たちの必要を顧み、利己的な目的や外側での自己の見せびらかしを何も持たないことにおいてです。窮乏している聖徒たちと物質のものを分かち合うことにおいて、主の命の恵みと彼の愛は、キリストのからだの肢体の間を流れ、彼らの中に注入されます——Ⅰヨハネ3:17-18. マタイ6:1-4. ローマ12:13. Ⅱコリント8:1-7。
- Q. わたしたちが神の愛をもって他の人たちを習慣的に愛することによって愛の中に住

むことは、彼に喜ばれようと懸命に努めることを全うし、主が戻って来られる時に彼によって罰せられるという恐れを持ちません—— I ヨハネ4:16-18. II コリント5:9-11. マタイ25:21。

- R. 愛は、キリストの有機的なからだである召会を建造するために、わたしたちが何者かであり、何事かを行なうための最も卓越した道です—— I コリント12:31後半—13:8前半。

© 2022 *Living Stream Ministry*